

【 母性看護学 】

授業科目	母性看護学概論		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	助産師		担当時間数	29
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 母性看護の概念が理解できる。 2. 母性看護の倫理と法律について理解できる。 3. 母性看護の対象が理解できる。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1・2回	1. 母性看護の基盤となる概念	1) 母性とは (1) 母性の発達 2) 親になること		講義
3回	2. リプロダクティブヘルス	1) リプロダクティブヘルスとは (1) 性的権利 (2) リプロダクティブヘルスの基本的要素		講義
4・5回	3. 母性看護の対象	1) 身体的・精神的・社会的特徴 (1) 妊婦体験 2) 家族のアセスメント		演習 講義
6・7回	4. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	1) 母子保健統計の動向 2) 母性看護と法律 3) 子育て支援		講義
8・9 10回	5. 母性看護の対象理解	1) 女性のライフサイクル (1) 思春期：身体的・心理的・社会的特徴、 (2) 成熟期：家族計画、女性生殖器疾患と看護 (3) 更年期：更年期女性の特徴、ホルモン変化と閉経 (4) 老年期：老年期女性の特徴、女性に影響する加齢現象		講義
11 12 13回	6. リプロダクティブヘルス・ケア	1) リプロダクティブヘルス・ケア (1) 家族計画 (2) 性感染症 (3) 人工妊娠中絶 (4) 喫煙 (5) DV (6) HIV		講義
14 15回	7. 母性看護における倫理	1) 母性看護における倫理的問題 2) 権利擁護 3) まとめ		講義 グループ ワーク ディスカッション
評価方法	課題および試験			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① (医学書院)			
参考文献				

授業科目	正常な経過をたどる妊産褥婦の看護 (妊娠)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	助産師		担当時間数	10
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 妊娠期における身体的・心理的・社会的特徴を理解できる 2. 正常な妊娠のアセスメントが理解できる 3. 妊婦への看護と保健指導について理解できる			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 正常な妊娠の経過	1) 妊娠の成立 2) 妊娠の経過と胎児の発育 3) 母体の生理的变化 4) 妊婦と家族の心理・社会的変化 5) 妊娠による不快症状 マイナートラブル		講義
2回	2. 妊娠のアセスメント	1) 妊娠週数による変化 2) 妊婦の健康状態 (1) 健康診査時の援助 3) 胎児の発育と生理、発育と評価 (1) 胎児の健康状態の把握のための検査 (ノンストレステスト、分娩監視装置を含む)		講義
3・4回	3. 妊娠中の健康管理と看護	1) 日常生活に関するアセスメントと援助 (1) 妊婦の日常生活とセルフケア(保健指導を含む) (2) 食事と栄養 (2) 排泄 (3) 活動と休息 (4) 清潔 (5) 嗜好品 (6) 性生活 2) 妊婦健康診査		講義
5回	4. 妊婦と家族への看護	1) 食生活の教育 2) 健康維持・増進、セルフケアに関する教育 日常生活動作 3) マイナートラブルへの対処 つわりのケア 下肢静脈瘤の予防 4) 母親・父親になることへの援助 5) 出産の準備 6) 育児の準備		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②(医学書院)			
参考文献				

授業科目	正常な経過をたどる妊産褥婦の看護 (分娩)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	助産師		担当時間数	10
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 分娩の要素・経過について理解できる 2. 正常な分娩のアセスメントが理解できる 3. 正常な分娩時の看護が理解できる			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 分娩の要素	1) 分娩とは 2) 分娩の3要素 3) 胎児と子宮および骨盤との関係 4) 分娩の機序		講義
2回	2. 分娩の経過	1) 分娩の進行と産婦の身体変化 2) 産痛 3) 胎児に及ぼす影響 4) 産婦の心理・社会的変化		講義
3回	3. 胎児、家族のアセスメント	1) 産婦と胎児の健康状態のアセスメント (1) 分娩経過と進行 陣痛、産痛 産道 破水 (2) 胎児の健康状態 (3) 連続的胎児心拍数モニタリング 2) 産婦と家族の心理・社会面のアセスメント		講義
4回	4. 産婦と家族の看護	1) 看護目標と産婦のニード 2) 安全分娩への看護 3) 安楽な分娩への看護 4) 出産が肯定的になるための看護 5) 基本的ニードに関する看護		講義
5回	5. 分娩期の看護の実際	1) 分娩期の看護の実際 (1) 分娩1期・2期・3期・4期の看護 (2) 産痛緩和 呼吸法・マッサージ法を含む		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門II 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)			
参考文献	ビデオ：いのちの誕生～産む力と生まれる力～			

授業科目	正常な経過をたどる妊産褥婦の看護 (産褥・新生児)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	助産師		担当時間数	9
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 正常な産褥経過が理解できる 2. 産褥期・新生児期のアセスメントが理解できる 3. 褥婦・新生児の看護が理解できる			
回数	主題	学習内容および方法		授業方法
1回	1. 産褥期とは 2. 褥婦のアセスメント	1) 身体的変化(退行性変化・進行性変化) 2) 心理・社会的変化 1) 産褥経過の診断 2) 褥婦の健康状態のアセスメント		講義
2回	3. 褥婦と家族の看護	1) 身体機能の回復への看護 (1) セルフケア不足に対する看護 (2) 退行性変化・進行性変化への看護 (3) セルフケア能力を高める看護 2) 児との関係確立への看護 3) 育児に関わる看護 (1) 授乳・児の清潔・児の健康管理 4) 家族関係再構築への看護 (1) 上の子どもへの対応・夫(パートナー)への対応		講義
3回	4. 施設退院後の看護 5. 新生児の生理と機能	1) 育児不安と育児支援 2) 職場復帰 1) 新生児とは (1) 新生児の定義・体格・姿勢 2) 新生児の機能 (1) 子宮外適応現象とは (2) 呼吸・循環・体温・消化・吸収・代謝・黄疸		講義
4回	6. 新生児の機能とアセスメント 7. 新生児の健康状態のアセスメント	1) 新生児の機能 (1) 腎機能 (2) 免疫 (3) 皮膚 (4) 反射 (5) 感覚機能 1) 新生児のアセスメント ・新生児の診断 (1) 基本的情報の収集 (2) 子宮外生活への適応状態のアセスメント (3) 新生児の生活のアセスメント		講義
5回	8. 新生児の看護	1) 出生直後から退院時までの看護 2) 生後1か月健康診査に向けた退院時の看護		講義 45分
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論(医学書院)			
参考文献	新体系看護学全書 33 母性看護学②妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護(メヂカルフレンド社) 病気がみえる vol.10 産科 第2版 (MEDIC MEDIA)			

授業科目	異常な経過をたどる妊産褥婦の看護 (妊娠・分娩・産褥・新生児)		対象学年・時期	2年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	助産師		担当時間数	10
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 妊娠期の異常が理解できる 2. 異常な妊娠経過をたどる妊婦の看護が理解できる			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. ハイリスク妊娠	1) 妊娠合併症 (1) 妊娠悪阻 (2) 妊娠貧血 (3) 妊娠糖尿病 (4) 胎位の異常 (5) 多胎妊娠 2) 切迫流・早産 3) 胎盤の異常 ①常位胎盤早期剥離 ②前置胎盤 4) 妊娠高血圧症候群 5) 妊婦と家族への看護ケア		講義
2回	2. 異常のある産婦の看護	1) 前期破水・早期破水 2) 分娩時異常出血 3) 胎児機能不全 4) 陣痛異常(微弱陣痛、過強陣痛)		講義
3回	3. 異常分娩時の産婦の看護	1) 帝王切開術を受ける産婦の看護 2) 骨盤位分娩時の看護 3) 急速遂娩を受ける産婦の看護 4) 分娩時異常出血のある産婦の看護		講義
4回	4. 産褥の異常と看護	1) 異常な症状と看護 (1) 子宮復古不全 (2) 産褥熱 (3) 乳房トラブル (4) 尿路感染、排尿障害 (5) 産後精神障害 2) 母子分離の状況における看護 3) 帝王切開術後の看護 4) 死産、障害を持つ新生児を出産した褥婦と家族への看護ケア		講義
5・6回	5. 新生児の異常と看護	1) 先天異常 2) 早産児・低出生体重児 3) 新生児一過性多呼吸 4) 呼吸窮迫症候群 5) 胎便吸引症候群 6) 高ビリルビン血症 7) 新生児・ビタミンK欠乏性 8) 低血糖		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②(医学書院)			
参考文献				

授業科目	異常な経過をたどる妊産褥婦の看護		対象学年・時期	2年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	医師		担当時間数	4
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 分娩時の異常が理解できる 2. 異常な分娩時の看護について理解できる			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. ハイリスク分娩	1) 産道の異常 2) 娩出力の異常 3) 胎児およびその付属物の異常 4) 異常出血		講義
2回	2. 産科処置・手術	1) 会陰切開術 2) 急速分娩・遷延分娩 3) 帝王切開術		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)			
参考文献				

授業科目	母性看護学演習		対象学年・時期	2年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	助産師 ★		担当時間数	30
			テスト時間	課題評価
学習目標	1. 産褥期・新生児の対象を、ウェルネスの考えを含めた看護過程の展開方法が理解できる 2. 母性看護に必要な看護技術が習得できる			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 母性看護における看護過程の考え方	1) ウェルネス看護診断の考え方 2) 母性看護における対象理解の視点		講義
2回	2. 妊娠期のアセスメント	1) 妊娠期のアセスメントの視点 (1) 妊娠週数に応じた身体・心理的变化		講義 個人ワーク
3回	3. 妊娠期の援助技術	1) レオポルド触診法 2) 児心音聴取 3) 子宮底・腹囲測定		演習 <実習室>
4回	4. 分娩期のアセスメント	1) 分娩経過に応じたアセスメント		講義 個人ワーク
5回	5. 褥婦のアセスメント	1) 産褥日数に応じた身体・心理的变化		講義 個人ワーク
6回	6. 新生児のアセスメント	1) 新生児の看護過程:看護計画		講義 個人ワーク
7・8回	7. 新生児の援助技術	1) 沐浴・臍処置・更衣・おむつ交換 2) 新生児の抱き方・寝かせ方・ビン哺乳・排気のさせ方 3) 新生児のバイタル測定		演習 <実習室>
9回	8. 褥婦・新生児のアセスメント	1) 褥婦・新生児のアセスメント		講義
10回	9. 産褥期の看護計画	1) 目標 2) 具体的援助 O-P-T-P-E-P		講義
11回	10. 子宮復古の観察と授乳手技獲得への援助	1) 産褥日数による子宮底の変化と観察方法 (1) 子宮復古を促す援助 2) 乳房の観察、含ませ方、抱き方への援助 (1) 乳汁分泌促進への援助		講義
12回	11. 帝王切開術による分娩の看護	1) 術前・中・後の特徴		講義
13回	12. 母性看護に必要な指導について	1) 産褥期の保健指導		グループワーク 発表
14回		(1) 指導内容のアセスメント		
15回		(2) ロールプレイ発表準備		
評価方法	課題（看護過程・演習課題）			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論（医学書院）			
参考文献	ウェルネスからみた母性看護過程第3版（医学書院） ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版（医歯薬出版）			